



事務局だより 7月号

令和6年度通常総会を開催しました

【出席総数：2,839 名】（内訳 当日出席：91 名、委任：1,239 名、議決権行使：1,509 名）
令和6年度通常総会を、6月18日(火)西区民文化センターホールにて開催しました。



会員の皆様には、ご出席いただいたほか、書面による議決権行使や委任状の提出にご協力いただき、ありがとうございました。当日は、桜木広島市経済観光局次長にもご臨席いただきました。

「令和5年度事業報告」「令和6年度事業計画」「令和6年度収支予算」の3件の報告と、「令和5年度決算報告」「定款の一部変更」「一般会員（協同労働会員）の会費」「役員（報酬等に関する規程の一部改正）」「役員（理事・監事）の選任」の5件の議案が承認されました。

令和5年度事業実績



区分		令和5年度	令和4年度	増減
会員数	男 性	2,189 人	2,231 人	△42 人
	女 性	1,397 人	1,316 人	81 人
	合 計	3,586 人	3,547 人	39 人
請 負 任	受 注 件 数	10,777 件	11,446 件	△669 件
	契 約 金 額	936,077,450 円	951,599,843 円	△15,522,393 円
	就 業 延 人 員	185,005 人日	194,621 人日	△9,616 人日
派 遣	契 約 件 数	439 件	381 件	58 件
	契 約 金 額	504,624,115 円	424,953,318 円	79,670,797 円
	就 業 延 人 員	88,844 人日	76,215 人日	12,629 人日
合 計	契 約 金 額	1,440,701,565 円	1,376,553,161 円	64,148,404 円
	就 業 延 人 員	273,849 人日	270,836 人日	3,013 人日
	年間就業率	75.2%	72.3%	2.9%

公益社団法人広島市シルバー人材センター第23期役員（令和6年度）

区 分	氏 名	所 属 等
理事長	建 部 賢 次	広島市シルバー人材センター理事長
常務理事	笹 口 八 恵 美	広島市シルバー人材センター常務理事(事)事務局長
理事 (関係団体等)	西 本 尚 士	広島商工会議所事務局長
	小 泉 小 夜 子	広島市地域女性団体連絡協議会理事
	高 橋 博	広島市老人クラブ連合会会長
	天 野 順 治	学識経験者
理事 (会員)	六 信 市 子	家事支援 安佐南区
	下 居 和 昭	駐輪場管理 東区
	森 川 武	施設管理 安佐北区
	保 田 卓 己	施設管理 中区
	望 月 豊 博	剪定 中区
	川 中 武 範	屋内清掃・作業 安芸区
	仲 間 陽 子	屋内清掃・作業 西区
	高 橋 弘 治	屋外清掃・除草 西区
	垣 内 み どり	子育て支援 安佐南区
	大 西 寿 美 子	介護支援 佐伯区
	池 田 和	独自事業 南区
	児 島 み づ 子	派遣事業 西区
	城 本 光 博	派遣事業 佐伯区
監事 (会員)	岡 島 龍 平	中区
	中 村 光 伸	中区

令和6年度会員表彰

通常総会に先立ち、シルバー事業の推進に顕著な功績があった会員のほか、安全スローガン及びヒヤリ・ハット体験記最優秀作品入選者の表彰式を執り行いました。

これからも、シルバー事業の発展にお力添えをいただきますようお願いいたします。

(順不同・敬称略)

● 地域世話人継続 10 年

熊本 恵美子 濱野 幸子 増井 千佐子 三登 精一

● 役員任期満了及び退任

池田 悦子 岩田 一典 上田 明 大橋 邦江 蒲生 健次 神庭 充史
木村 訓弘 高口 武美 佐藤 昌則 濱野 幸子 宮原 真理子

● 安全スローガン最優秀賞

『大敵は 慣れと 油断と 気の緩み』 藤田 正治

● ヒヤリ・ハット体験記最優秀賞

『作業中に突然、大きな衝撃が…！』 佐藤 昌則



会議開催報告

理事会専門部会 安全・適正就業部会

7月3日（水）、第1回安全・適正就業部会を開催しました。
事務局から「事故発生状況」、「会員の指導措置」、「安全・適正就業強化月間現場視察の実施」、「県連合会主催の安全就業担当者研修会の開催」等について説明し、委員の皆さんに協議していただきました。

その結果、会員の指導措置については、4件すべて「口頭指導」とすることとなりました。

今年度も、昨年度同様、現場視察等を実施し、安全就業に対する意識啓発など事故防止に取り組んでいきます



理事会専門部会 業務推進部会

7月4日（木）、第1回業務推進部会を開催しました。

事務局から「事業概要」や「シルバー活性化検討会議」について説明し、委員の皆さんに協議していただきました。

会員の確保や就業機会の拡大、デジタル化の推進など今年度の取組について活発な意見交換を行いました。

今年度も、会員の確保や就業機会の拡大などに取り組んでいきます。



理事会専門部会 会員部会

7月5日（金）、第1回会員部会を開催しました。

事務局から「令和6年度実施事業」や「会員研修見学会」、「健康増進事業」などについて説明し、委員の皆さんに協議していただきました。

研修見学会は、「伯方の塩工場見学」を中心としたしまなみコースに、健康増進事業は、昨年同様に「ボウリング大会」に決定しました。

9月発行の「シルバーだより」で募集を行いますので、委員の皆さまのご参加をお待ちしております。

また、交流カフェも、毎月、本部と佐伯支部で開催しておりますので、こちらへの参加もお待ちしています。



理事会専門部会 広報部会

7月9日（火）、第2回広報部会を開催しました。

事務局からシルバーだより第129号の紙面構成案について説明し、委員の皆さんに協議していただき、紙面の構成と各ページの担当者が決定しました。

今年度も、重要なお知らせを届けるとともに、「会員のひろば」や「この仕事で頑張っています」など会員の交流促進に役立つ情報を発信していきます。



会員拡大の取組

女性限定入会説明会

6月26日（水）、シルバー人材センター本部で「女性限定入会説明会」を開催し、14人の方が参加されました。㈱広島元氣いっぱいプロジェクトの健康運動指導士による「いきいきストレッチ教室」も同時開催し、大変好評でした。

また、女性会員から就業内容や会員になって良かったことなど、センターでの体験談を語っていただきました。1週間での働き方など、女性会員のライフスタイルが参加者の皆様に具体的に伝わったかと思います。

今後も「女性限定入会説明会」を開催する予定ですので、たくさんの方にご参加いただきたいと思います。



常務理事から開会挨拶



いきいきストレッチ教室



女性会員による体験談

ハローワーク

広島市内の各ハローワークを訪問し、シルバー人材センターの会員確保に向け協議した結果、今後連携しながら、可能な範囲で次の取組を進めることになりました。

- ① 窓口職員にシルバー人材センターのチラシ等をまとめたファイルを配付し、現役同様の働き方を望まない高齢者にシルバー人材センターを紹介していただく。
- ② [会員募集パンフレット](#)をハローワーク主催のシニア向けセミナーで配付するとともに、雇用保険受給説明会会場やパンフレットコーナーに配架していただく。
- ③ 求人情報誌にシルバー人材センターの記事を掲載していただく。（広島及び広島東は掲載済）

※6月12日（水） ハローワーク可部
6月13日（木） ハローワーク広島東
6月27日（木） ハローワーク広島



会員募集パンフレット

（クリックすると見ることができます）

就 業 拡 大 の 取 組

老人福祉施設連盟

6月13日（木）、広島市老人福祉施設連盟総会に参加し、シルバー事業の説明を行いました。高齢者施設での就業実績（令和5年度）を紹介し、介護補助、清掃、調理補助、洗濯のほか、事務的な仕事、受付、パソコン業務など介護の周辺業務等について、当センターの活用を検討していただくようお願いしました。

広島県介護労働懇談会構成団体

広島市経済観光局雇用推進課とともに、広島県介護労働懇談会構成団体を訪問し、会員の就業確保を図るとともに、人手不足が深刻な介護、福祉企業を支援するため、当センターの活用について、加盟企業等へ周知していただくよう依頼しました。

- ①一般社団法人 全国介護付きホーム協会（6月14日）
- ②公益社団法人 日本認知症グループホーム協会 広島県支部（6月11日）
- ③広島市域小規模多機能事業所連絡会（6月25日）
- ④広島県生活協同組合連合会（6月12日）

生協ひろしま

6月11日（火）、24日（月）に生協ひろしまを訪問し、上記介護労働懇談会構成団体と同様の依頼を行い、市内の5店舗と配送センター8カ所に仕事募集チラシと会員募集パンフレットを配架していただくことになりました。

広島商工会議所

6月26日（水）広島商工会議所を訪問し、商工会議所に属する部署のうち、3つの部会へ当センターのPRを依頼しました。また、商工会議所のメールマガジンに当センターの情報を掲載することも検討していただいています。

五日市商工会

6月10日（月）、五日市商工会を訪問し、同商工会への入会及び加盟企業へのシルバー人材センターのPRについて協議を行った結果、次のとおり対応することになりました。

- ①特別会員として、本年6月に加入する。
- ②8月9日発行の会報誌に仕事募集チラシを同封する。
- ③加盟企業を対象にした交流会（名刺交換会）等への参加を検討する。

ハローワーク

企業訪問等を行う際に、シルバー人材センターのチラシを活用することについて、就業支援員に広報していただくことになりました。

7月は、安全・適正就業強化月間です！

全国のシルバー人材センターでは、国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月を「安全・適正就業強化月間」とし、全国統一安全就業スローガン「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」を掲げています。さらに、昨年重篤事故が多発したことを受け、今年度限りの緊急スローガンとして、「大丈夫 その慢心が 命取り」を加えています。

広島市シルバー人材センターにおいても、独自の安全スローガン「大敵は 慣れと 油断と 気の緩み」を掲げ、職員と会員の皆さんで組織をあげて事故の撲滅を図っていくこととしています。

この期間中に、理事長をはじめ安全・適正就業部会の委員による就業現場視察を行います。



全国統一安全就業スローガン



広島市シルバー人材センター安全スローガン

事故発生状況

6月末現在、傷害事故は4件で昨年度同月と比較して5件減少、賠償事故は3件で6件減少しています。その内訳の主なものは、傷害事故では就業途上でのつまづきによる転倒など、賠償事故では剪定作業中の枝葉による物の破損などとなっています。「安全はすべてにおいて優先する」をモットーに事故、ケガの無いよう気を付けましょう。

(各年度6月末現在)			
区分	令和6年度	令和5年度	差
傷害事故	4件	9件	▲5件
賠償事故	3件	9件	▲6件
計	7件	18件	▲11件



安全はすべてにおいて優先する



熱中症にご注意ください



暑い日が続いています。引き続き熱中症にご注意ください。

熱中症は予防が大切です。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

室内でも、外出時でも、またのどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給しましょう。

熱中症が疑われる人を見かけたら、①「涼しい場所へ」②「体を冷やす」③「水分補給」を行い、自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

※事務局では熱中症予防のための飴を配布しています。

救命救急講習を開催しました

6月12日（水）、シルバー人材センター4階研修室にて、広島市救急教育センターから講師を招き、救命救急講習を開催しました。

福祉・家事援助班に登録している会員を中心に18人が参加し、DVDによる講義で救急救命の基礎知識を学んだ後、2班に分かれて実技講習を行いました。

実技では訓練用の人形を使って、胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方等を教わりましたが、ときに笑いを取りながら、大変わかりやすく説明され、終始明るい雰囲気での講習となりました。

参加した会員の表情には、実技の疲れが見られたものの、たくさんの学びを得られ、充実した様子がうかがえました。



柴崎講師



実技講習では気合いが入ります



枝松講師

交流カフェ

日時：2024年8月1日（木）9：30～11：30

場所：広島市シルバー人材センター 本部4階研修室

女子会・ニュースポーツ・切り絵同好会などのイベント実施予定

日時：2024年7月19日（金）9：30～11：30

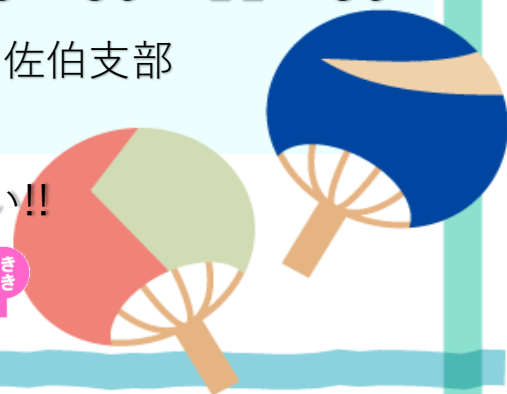
場所：広島市シルバー人材センター 佐伯支部

会員相互の交流・情報交換

会員交流の場です。ぜひお越しください!!

高齢者いきいき活動ポイント対象事業（1ポイント）

いきいき



協同労働団体を対象に刈払機取扱講習が開催されました

6月5日（水）、当センターとの連携のもと、広島市協同労働プラットフォームによる協同労働団体向けの「刈払機取扱講習」が初めて開催されました。

協同労働団体や社会福祉協議会などから約20名が参加し、株式会社やまびこを講師に、午前中は座学、午後は太田川放水路河川敷での実習で、刈払機の手扱いについて学びました。

参加者からは、「基礎から学べて参考になった」「また参加したい」などの感想があり、大変好評でした。



「協同労働」学習会が開催されました

6月27日（木）、当センター本部の4階研修室を会場に、「協同労働」学習会が開催されました。学習会では、約30名の参加者の中、西区でカフェやエクササイズ事業を中心に活動している協同労働団体『Ohana』による活動内容の紹介をはじめ、協同労働という働き方の説明や、質疑応答などが行われました。

学習会は、今後も市内の各所での開催が予定されており、随時、ご案内しますので、興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。



広島市「協同労働」プラットフォーム

受託団体：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

〒730-0005 広島市中区西白島町23-9 広島市シルバー人材センター内4階

電話番号 082-554-4400（土日祝を除く10時～18時） F A X 082-554-4401

ホームページ <https://kyodo-rodo.jp>

E-mail platform-hiroshima@roukyou.gr.jp

※協同労働について詳しく知りたい方は、広島市「協同労働」プラットフォームまでお問い合わせください。

協同労働の普及・促進に向けて

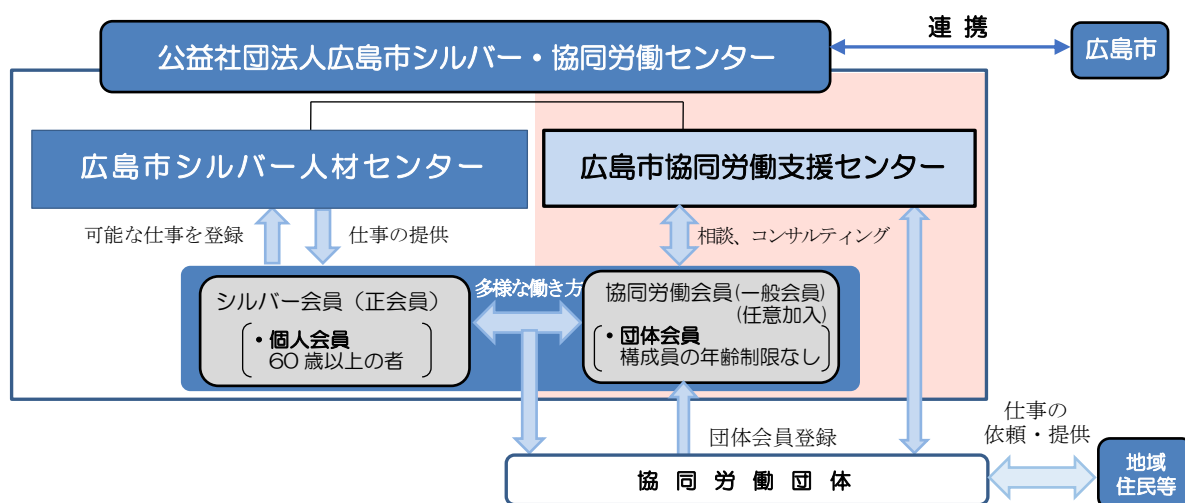
6月18日（火）に開催した当センターの通常総会において、定款に定める法人の名称、目的、事業及び会員の種類の変更等を次のとおり提案し、原案どおり承認されました。（1ページ参照）

令和7年度からの新組織への再編に向けた諸準備に、順次、取り組んでまいりますので、引き続き、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

定款の一部変更等について

- 法人の名称を「公益社団法人広島市シルバー・協同労働センター」に変更します。
 - ※ 組織の実態に合わせた法人名称への変更を行いますが、シルバー事業に関する会員の皆様への事務連絡等は、従来どおり「広島市シルバー人材センター」の名称で行う予定としています。
- 目的に、「協同労働の普及等により多様な就労機会の創出の促進を図ること」を追加します。また、事業として、「協同労働の普及等を図るために必要な事業を行うこと」を追加します。
- 会員の種類に、上記の目的に賛同して事業に協力していただける市内の協同労働団体を、議決権を有しない「一般会員」として追加します。
 - ※ 一般会員（協同労働団体）は、法人運営への主体的な参画がないことに加え、協同労働の普及等に係る事業は広島市からの補助を受けて実施する予定であることなどから、会費の負担は求めないこととします。

※新組織のイメージ



健康 ぷらざ

高次脳機能障害

— 見えない障害への理解を深めよう —

慶應義塾大学予防医療センター 特任教授 三村 將

企画：
日本医師会

No. 579

高次脳機能障害とは

高次脳機能障害という言葉は一般になじみが薄く、わかりにくいですが、脳にダメージを受けて、さまざまな認知機能や行動に影響が生じた状態をさします。単純な知覚障害や運動障害とは異なるものです。主な原因には、^{こうそく}脳梗塞・脳出血といった脳血管障害や、交通事故や転落などによる脳外傷が挙げられます。病気や事故の後、急性期を過ぎて、意識もはっきりしてきてから、さまざまな「高次脳機能」に異常が見られるのが、高次脳機能障害です。

どんな症状？

代表的な症状は、「注意障害」「記憶障害」「^{すいこう}遂行機能障害」「社会的行動障害」の4つです。注意障害では、ぼうっとしていたり、注意力が散漫になったりします。記憶障害では、最近の出来事が思い出せなかったり、新しいことを覚えられなかったりします。遂行機能障害では、料理の手順がわからない、買物がうまくできないなど、日常の家事や仕事に支障が生じます。社会的行動障害では、対人関係がうまくいけなくなったり、衝動的な行動をとったりします。

注意障害



記憶障害



遂行機能障害



社会的行動障害



対応と支援

まずはこのような“見えない”障害があることに、本人や家族、周囲が気づくことです。高次脳機能障害者は、障害者総合支援法に基づくサービスを受けられます。全国には支援拠点機関や支援コーディネーターが配置されていますので、心配なことがあれば、適正な評価や対応のために、医療機関や支援拠点機関*に相談してみましょう。

*：国立障害者リハビリテーションセンターのWebサイトに、全国の医療機関や支援拠点機関が紹介されています。「高次脳機能障害相談窓口」で、検索できます。

日本医師会ホームページでは、健康ぷらざのバックナンバーがご覧いただけます。



健康ぷらざ

バーコード読み取り機能付き
携帯電話もしくはスマートフォン
でご利用になれます。